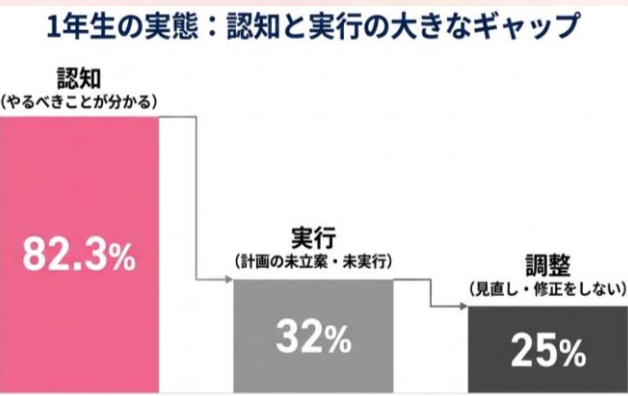


令和8年度 桜馬場中学校 学力向上プラン

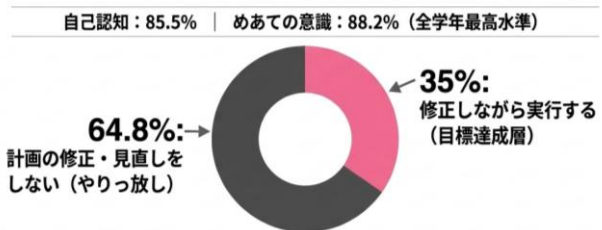
桜馬場中の授業と 家庭学習の状況



2年生の実態：授業内の意欲と、授業外の自律の乖離



3年生の実態：立ちほだかる「自己調整スキル」の壁



知識・技能の平均比較

1年生(桜中73% 市69%)
2年生(桜中57% 県54%)
3年生(桜中68% 全国60%)

強み

【令和8年度】
桜馬場中の学力
調査の結果

課題

根拠を明確にして自分の考えを表現する (桜中33% 市44%)
解決方法を教科の言葉を用いて説明する (桜中42% 県45%)
情報を整理して表現する (桜中33% 全国44%)

課題

1. 「根拠」に基づく論理的出力
インプット(知識)は完了しているが、それをアウトプット(記述・説明)する回路が弱い。
2. 複雑な情報処理への心理的ハードル
複数の条件が提示された瞬間にフリーズし、無解答(放棄)を選択する傾向。

【令和8年度 研究テーマ】
自律した学習者の育成
～「計画・実行・調整」のプロセスを通して～

- 自律した学習者の3つのレベル
1. やるべきことを自覚できる
 2. 自ら計画を立てて実行できる
 3. 計画を調整しながら実行できる

「**計画**→**調整**→**振り返り**」
を自走させるための3つの手立て

①【**学びの環境を整える**】
学校内で生徒が安心して
学べるスペースを確保し、
自走できる環境を作る。

②【**教室の学びを家庭につなげる**】
家庭学習の着火剤となる振
返りを行い、調べたくなる
「問」を設定する。

③【**テスト計画表のアップデート**】
セルフマネジメントをテ
スト計画表で発揮し、保護者
へ届く連絡票を作成する。

長崎市立桜馬場中学校 学校教育目標
「**国際社会に生きる良き日本人**」の育成

授業で生徒が行うべき3つの活動

(全学年の学力調査の結果から「**共通課題**」を一般化)

①【**なぜならの日常化**】
「なぜそう考えたか」
を積極的に可視化する。
根拠を基に発言したり記
述したりする。

②【**部分思考でも共有**】
途中の考えまでもいい
から表現する。協働的に
学ぶことも大切に、粘
り強く考え続ける力につ
なげる。

③【**情報整理や要約を共有**】
・読み取ったことを図で表す
・情報を表にまとめる
★〇〇というキーワードを
用いて振り返りを書く
などを通して理解を深める。